

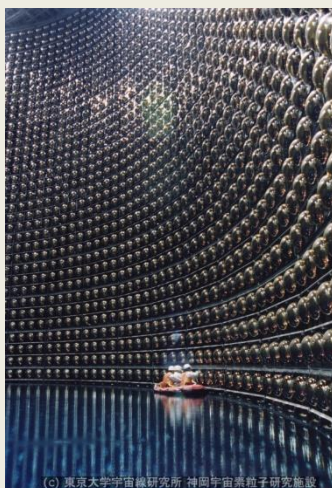


ノーベル賞受賞記念講演会 東京大学 梶田 隆章 先生

平成30年4月15日(日)、ホテルニューオータニ博多で梶田隆章先生のノーベル賞受賞記念講演会(主催:公益財団法人九州経済調査協会BIZCOL,九州大学先端素粒子物理研究センター・九州大学素粒子実験研究室)が開催されました。本校・物理部の生徒を含む多数の中・高校生や一般聴講者が参加し、最先端の素粒子研究の講義・講演を聴講しました。

この講演会は、サイエンスカフェ特別版として、「『宇宙の謎に迫る!』～姿を変えるニュートリノとニュートリノの小さい質量～」をテーマに開催されました。初めに、九州大学・先端素粒子物理研究センター長の川越清以先生から、素粒子の基礎知識や実験方法・施設について解説が行われ、予備知識を得ることができました。

続いて、梶田隆章先生の講演では、素粒子研究の世界に進まれた学生時代の話から、実験施設(岐阜県飛騨市神岡にあるスーパーカミオカンデ)建設までの過程を、当事者でなければわからない楽しみや苦労など、興味深い内容を紹介されました。さらに、ニュートリノが質量を持つことを確認する過程で重要な現象であるニュートリノ振動や、観測データから考察した内容など、非常に難解な内容を高校生にも理解できるように、図やイラストを使って丁寧に解説されました。



スーパーカミオカンデの建設(1996年)



第66回統計グラフコンクール ふくおか県政出前講座

平成30年5月11日(金)、第66回福岡県統計グラフコンクールに向け、福岡県企画・地域振興部調査統計課山口大介氏を招き、出前講座『統計グラフを作ろう!』を実施しました。講座では統計データの調べ方、データのグラフ化やグラフの分析方法など、統計に関する基礎的・基本的な知識を講義していただきました。生徒は9月に統計グラフポスターを1人1作品出品する予定です。



第27回 香燐祭(文化祭) SSH課題研究成果報告・研修報告

平成30年6月1日(金)、2日(土)に本校で香燐祭が開催されました。1日目の体育館ステージでは生物部、化学部が全校生徒に向けて課題研究の成果と研究内容の概略を口頭発表しました。発表生徒は自分たちの研究内容を分かりやすく伝えようと工夫を凝らし、本校学校特設科目「SS科学探究」や部活動の時間に進めている課題研究の内容を全校で共有することができました。化学部の「高濃度溶液の凝固点降下」は8月8～9日に神戸国際展示場で開催されるSSH生徒研究発表会にて発表する予定です。



課題研究や科学研修等の紹介・報告

2日目の一般公開では、昨年度行われた1年生の夏季研修(山口大学・秋吉台)と2年生の東京・筑波先端科学研修の報告が行われました。研修に参加した生徒が来場者に、研修内容や研修を通じて学んだことをポスター発表しました。



JSS等の成果発表

また、数理コミュニケーションコースは、JSS(ジュニアサイエンスセミナー・小学生科学実験講座)の実験ブース、ピタゴラススイッチ、プロジェクトマップを披露しました。3学年合同でそれぞれ数か月かけて準備した企画で、創意を凝らしたものとなりました。